

# TRICOLOR

## 大会・公式戦結果

### Top

【県リーグ(KSL-1)】

#### ▼第7節

vs 横浜猛蹴 0-4●

#### ▼第8節

vs さがみ大沢 FC 1-2●

### Youth

【県 CY リーグ】

vs FC インフィニット相模原 1-3●

【県 U-18 リーグ】

vs 慶應高校 B 2-0○

### Junior Youth

【横浜市長旗杯区予選】

#### ▼1回戦

vs 神奈川中 7-0○

【県 U-15 リーグ】

vs FC コラソン淵野辺 0-1●

### 小6

【横浜国際チビッツ】

vs 南が丘キッカーズ 5-1○

vs FC ムサシ 1-0○

### 小5

【NHK 杯】

#### ▼グループリーグ

vs 太尾 FC 0-5●

vs 黒滝 SC 0-6●

※グループリーグ敗退

### 小4

【野川杯】

#### ▼グループリーグ

vs 大空 KFC 0-3●

vs NKFC 2-3●

#### ▼5位決定戦

vs セリエ FC 1-4●

※6チーム中第6位

### 小2

【横浜国際チビッツ】

vs あざみ野 FC 1-0○

vs 横浜つばさ SC 0-6●

### Papas

#### ☆Rec

【県シニアリーグ四十雀4部】

vs ウィットモンスタース 0-7●

vs 駒寄 FC シニア 0-4●

### ☆Comp

【関東四十雀サッカー大会】

vs 日川ジーニアス(山梨) 0-1●

vs FC 前橋 40(群馬) 0-0△

【県シニアリーグ四十雀2部】

vs 平塚シニア 0-1●

vs 茅ヶ崎四十雀 1-4●

#### ☆O-40

【市シニアマスターズ】

vs フォルテ SC 3-2○

## 今、グラウンドでは・・・

### Top

#### 【県リーグ降格危機】

県リーグ戦は第7、8節を行いました。9月5日(日)昨年の県リーグ1部優勝チームの横浜猛蹴との試合。

序盤は互角以上の戦いができました。ところが退場者を出してからチームのリズムが狂いだし流れを戻せないまま敗れました。

また、9月12日(日)同じく今年下位で低迷している、さがみ大沢 FC との負けられない試合。

かながわクラブが押し気味に試合を運び、先制点も取りました。さらに追加点を狙ったのですが、思うように決められません。そのうち、流れがさがみ大沢 FC に傾き後半に2失点の逆転負けでした。

スポーツ全般に言えることですが、よほど実力差のある相手でない限り試合中は、どちらかのチームに「流れ」が傾きます。

現在 Top チームは県リーグ内での流れがよくありません。また、試合をしてもその流れの中でのチャンスを確実にものにできず、相手のペースになる傾向があります。これを断ち切って、自分たちの流れに変えるためには、強靭な精神力や今までと違うプレーが必要に



なってくるのです。

田村監督やスタッフはそのための手助けをしています。何とか流れを引き寄せるために策を与えます。それに応えるためにも、選手も集中して自分たちで流れを変えられるようなプレーをすることが必要です。

今まで、残留争いは幾度となくやってきましたが、それを乗り越えられたのは強い集中力でした。

県リーグは残り3試合。ひとつでも多くの勝ち点を取り残留するためにも、選手たちには強い集中力で乗り越えてもらいたいと思っています。

(中本 洋一)

## Youth

なかなか勝てません。やろうとしていることや内容はそんなに悪くはないのですが、自信を持ってプレーできないうちに相手にリズムをつかまれ、終盤につまらない失点で負けてしまうことの繰り返しです。

自信の裏づけになる技術や戦術・体力が今ひとつなのは選手のみならず自覚していることと思います。

ミスがあるのは仕方のないことですが、そのミスの発生メカニズムを分析し、次に同じことを繰り返さない努力は忘れてほしくはありません。

そんなことを考えていたら、昔読んだ本を思い出しました。薄くて簡単に読める本ですから、ぜひご一読ください。

サッカーに限らず、人生のあらゆる場面で使える内容が詰まっています。

「世界一やさしい問題解決の授業」

渡辺健介著 ダイアモンド社刊

100 ページ程度しかありませんからすぐに読めると思います。おすすめですよ。

(内田 佳彦)

## Junior Youth

### 【2009/2010 県 U-15 リーグ】

先月号にてお知らせしたように、1 部昇格をかけたリーグ最終戦が 9/23(木/祝)に行われました。

結果は 0-1 での敗戦。

前半、相手コーナーキックからヘディングシュートを決められると、その後得点を奪えず、そのままタイムアップ。

昨年に続き、あと一步のところまで 1 部昇格を果たすことができませんでした。

自力での 1 部昇格の可能性がある試合で、そこに臨む姿勢の部分で課題が出ました。「思う」だけではなく、その「思い」を実現するために具体的にどんなアクションをするかが大事なことだということに気づいてくれたら次につながると思います。

また、試合当日は、連日の残暑が一転、強雨で気温が低く、人工芝のグラウンドでなければ中止になるくらいの悪条件となりました。

そんな中、大橋君のお母さんには、荷物置き場として車を提供してくれたり、選手たちのために色々サポートをいただきました。この場を借りて、選手・スタッフ一同、心よりお礼申し上げます。

### 【横浜市長旗杯区予選】

大会の正式名称は、「横浜市長旗争奪ジュニアサッカー大会」です。

クラブチーム・中体連(中学校の部活)という枠に関係なく横浜市の中学生チームであれば参加できる大会で、今回で 45 回目となる歴史ある大会です。横浜市各区で予選を行い、各区の優



応援に来てくれたサポーターに挨拶代わりのパフォーマンスを見せるジュニアユースの選手たち。この日のメンバーは 14 人。EXILE に見えますか?? (9/26 海の公園にて)

勝チームが区代表として本大会に出場し、横浜市 No.1 を争います。

かながわクラブは、すでに神奈川区予選 1 回戦を神奈川中と戦い、7-0 の勝利で良いスタートを切っています。

今号が発行される週には六角橋中との 2 回戦があります。この試合を含めて、あと 3 回勝つと区の代表になることができます。

まずは、チームとしてここを目標に、自分たちの力で本大会への出場権をもぎ取って欲しいと思います。

### 【2010/2011 県 U-15 リーグ】

県 U-15 リーグは、前述の試合で 2009/2010 シーズンの全 3 ステージが終了し、10 月からは新たに 2010/2011 シーズンがスタートします。

出場資格は、現中 2 以下となります。

1st ステージは、抽選により 5 チームグループに入ったので、10/2(土)～12/19(日)の期間に 4 試合を行います。対戦相手は下記のとおりです。

試合日程については現時点では決まっていないので、決まり次第、お知らせします。

保護者の皆さん、ぜひグラウンドまで応援に来てください。

- ①横須賀市立神明中学校
- ②横浜市立原中学校
- ③横浜 GSFC
- ④FC OFFSIDE JY

(二木 昭)

## 小 6

### 【国チビに向けて】

9月26日から、横浜国際チビッ子サッカー大会が始まっています。選手たちがどこまでの頑張りを見せてくれるか、私も楽しみにしています。ボールを大事にしなが、いつスピードを上げるのか、そしてグループでどのようにボールを奪うのか、公式戦ということ意識しすぎずに、いつもどおりのプレーをすることに集中できるような雰囲気作りに努めたいと思います。

## 【ジュニアユース説明会】

近日中に、ジュニアユースの活動について、担当の河原・二木両コーチからの説明および皆様からご質問いただく機会を設けさせていただく予定です。何人かの子供たちはすでに活動にも参加しており、雰囲気等については肌で感じていることと思いますが、保護者の皆様も中学生年代の活動について、いろいろとご質問があることと思います。ジュニアユースと6年生それぞれの公式戦の状況を見ながら日程の調整を行い、別途、ご案内させていただければと思います。お忙しいとは存じますが、ふるってご参加くださいますようお願いいたします。(鈴木 章弘)

## 小 5

### 【身体と用具のメンテナンス】

高学年になりますと練習中のマッチアップが激しくなりケガや足を引きずってプレーをしてしまう選手を多く見かけます。サッカーをプレーしている上でマッチアップは避けられませんが、予防をする事は可能です。

ケガの予防として

- ①練習前に早めにグラウンドに出てきてランニングをした後ストレッチを長めに行う。
- ②スパイク等の用具メンテナンスを行う(スパイクのポイントの磨り減りをチェックなど・・・)
- ③練習後にクールダウン・ストレッチを行う(今後は練習後に時間がある場合に実施予定)
- ④お風呂上りにストレッチを行う等があげられます。

良い選手になるためにがんばって取り組んでみてください。

まずはチャレンジ！！

### 【今後の大会のお知らせ】

11月下旬に三浦市のチームが主催するカップ戦に出場する予定となっております。

現在かながわクラブ5年生は11月の

カップ戦・年明けに行われる横浜市の新人戦で良い成績を残せるように日々練習に取り組んでおります。試合によっては出場時間の関係上選抜制を採用することがあることを予めご了承ください。

選手たちは、メンバーに残れるように日々自分の課題を意識して練習に取り組んでください。(丸山 祐人)

## 小 4

### 【「お久しぶりです」】

先日、かながわクラブのジュニアユースチームも参加する横浜市長旗杯の神奈川区予選を観戦に浦島丘中に出かけました。毎年この時期に神奈川区の中学校でサッカーを続けている、かながわクラブを巣立った選手たちを見ることができ楽しみにしているのですが、今年は例年にも増して大勢のみんなの元気な姿を見ることができました。小学生の頃の雰囲気が残る子もいれば、身長も伸び、少し太い声で「お久しぶりです」と挨拶されて少し後退してしまう子もいたり。何れにせよ、これからもサッカー、学校生活を楽しんで欲しいと思います。

### 【国際チビッ子】

さて。組み合わせ、日程も決まりいよいよ10月から始まります。春に続いての公式戦ですが、独特の雰囲気をまた楽しんで欲しいと思います。子供たちには、「準備を自分できちんと」「サッカーをするために会場に行く」「元気にあいさつする」「いろいろな方のサポートがあってサッカーができることへの感謝」、そして、「一生懸命がんばる」ことを繰り返し伝えていきます。とはいえ、ガチガチではなく、当たり前のこととしてそれらが行えるようになることで、自然と気持ちも向いてくるものと考えています。保護者の皆様には、サッカーについてはスタッフにお任せいただき、引き続き温かく見守っていただきたいと思います。

## 【応援をお願いします！】

いつもお願いですが、保護者の皆様には積極的な温かい応援をお願いします。かながわクラブには「タオルマフラー」という素敵な応援グッズもありますので、試合開始時の入場・セレモニーの際には高々と掲げて子供たちに元気を与えてください。子供たちもきっと勇気が湧き、がんばることができると信じています。(小野 津春)

## 小 3

### 【新しい仲間が増えてきました！】

最近入部した子の背番号がどうとう30番を越えました。平日の練習が増えたこと、また平日の練習が大口台小学校で行われることなどが原因で、この時期から徐々に人数が増える傾向にあるようです。1年生(幼児)の頃に入部した人の大半が保護者の方の意向によってサッカーをさせられていたはずですが、ところが、3年生のこの時期に新しく仲間に加わった人の多くは自ら希望してかながわクラブに入部したはずですが、つまり自分でサッカーがやりたくて、クラブを探して、そして仲間に加わったわけです。

### 【今の気持ちを忘れないように…】

今の「サッカーがやりたい」という熱い気持ちを忘れずに頑張りましょう。というのもクラブの活動に慣れるまでは多少戸惑うことがあったり、思うように体が動かなかったりすることがあるからです。しかも最初のうちは、1年生からクラブに在籍している子との技術の差は大きいかもしれません。しかし、その差は集中力と思考力で意外に早く埋められるものなのです。それには、周囲の上手な子をじっくり観察して、真似をしてみることをお勧めします。決して「下手だから…」とか「うまくできないから…」などと弱音を吐かず積極的に取り組んで欲しいものです。

## 【今一度みんなにも確認しておきます。】

勘違いしてもらっては困ります。Jリーグの選手だって「下手だから!」「うまくできないから!」練習するのです。サッカーが「うまくなるために…」練習するのです。最初から上手にできる人はいません。できないのは当たり前で、できないことをできるようにするために練習があることを肝に銘じてください。うまくできないことや下手くそなことを叱る指導者(コーチ)は、かながわクラブにはいませんから安心してください。

それより失敗を恐れて消極的になることが困ります。サッカーに限らず(もしかしたら勉強も)消極的な姿勢ではなかなか上達はしません。積極的にミスを恐れずにチャレンジしましょう。

## 【誰のためにサッカーをしているの?】

幼児や1年生の頃は「お父さん(お母さん)がサッカーをやれって言うから…」という人もいたはずですが、3年生になってもまだそんな気持ちでサッカーをされては、とても困ります。自分の意思で(自分がサッカーをやりたいと思うから)サッカーをして欲しいものです。自分はサッカーをすることで楽しい気持ちになるから、自分のためにサッカーをしているのだと強く思うことが大切です。お父様やお母様が喜ぶからとかお父様やお母様の顔色を見ながらサッカーをするのでは楽しくないでしょう。

そして自分の意思でサッカーをしているのですから、サッカーの練習や試合の準備は自分でしなければなりません。責任という少し言葉が難しいかもしれませんが、そうした気持ちが芽生えてくれば、また一段成長した証となるはずです。

## 【懇親会がありました!】

9月25日に懇親会が行われました。多くの家族の方々にご参加いただきありがとうございました。また、幹事の方々にはいろいろとアレンジをしていただき、

ご苦勞様でした。その席でもお話しさせていただきましたが、「クラブ員の子どもだけでなく、大人も一緒に楽しみましょう!」がクラブのポリシー(?)でもあります。保護者の方々には、是非グラウンドに足を運んでいただいて、情報交換なり、飲み会の相談なり(母会も)していただければと思います。

もちろん私佐藤に対するご意見、ご要望など何でも構いませんので、お聞かせ願えればと思います。一緒に子どもたちのために今何が大切なのかを考えましょう。(佐藤 敏明)

## 小 2

横浜国際チビッツサッカー大会がはじまりました。初日は例年通り子供たちは独特の雰囲気の中、緊張気味でいつものどおりの動きとは程遠い内容でしたが、これも経験のひとつです。暖かく見守ってほしいと思います。大会中はいろいろなチームと対戦をします。その中には大人のサッカーと同じ様にポジションを決めてくるチームを多いかと思えます。しかし、かながわクラブではポジションを決めるつもりはありません。ポジションを決めてあなたの役割はこれだけですよ!!と限定するにはまだまだ時期尚早だと考えています。

- ①常に自分ですることを周りの状況を見ながら考える。
  - ②自分で一生懸命ゴールを目指す!!
  - ③他人任せにしないで、責任をもって一生懸命プレーする。
  - ④個人技術を磨く。
- 等のことが重要だと考えるからです。

ドリブルで目の前の相手を抜こうとしなかったり(パスで逃げたり)、顔を上げてドリブルコースを事前にイメージできなければ、今後、強化年齢になった時に更にステップアップすることが難しくなるからです。まずは顔を上げながら積極的にプレーできるようになることに専念したいと考えています。

顔を上げて、自分で考えてプレーしようとし、なお且つ一生懸命プレーをし

ていたなら、失敗をしても、それが失点に繋がってしまっても、是非褒めてあげてください。得点すること、失点しないことはとても重要なことですが、それが全てではありません。得点するために自分で考えてプレーし、且つ頑張れるか?失点しないために自分で考えてプレーし、且つ頑張れるか?が大事であって、大人に言われたことをやって試合に勝つことが最重要とは考えません。ましてやサッカー人生の1/30程度しか経過していない2年生たちにはこれから沢山の失敗が待っていますし、失敗を恐れずトライして、そこから沢山のことを自分なりに(怒られたからではなく)学んでほしいと思います。

そのために保護者の皆様のサポートが必要です。それはおにぎりを取り出してあげたり、水筒を手渡してあげたりではなく、何か失敗をしてしまったら、子供たち自身が何故だろう?と言うことを考える環境を常に作って頂きたいと思えます。また声をかけて盛り上げてほしいと思います。自分も人のことは言えませんが、こう書きながら親としての自分自身にも言い聞かせています。

これからもサポートよろしくお願いたします。

また、これまでもそうですが、大会中審判をして頂く保護者の方々には、この場をおかりして厚く御礼申し上げます。

(益子 伸孝)

## 幼児・小 1

4月から半年が経過し、ユニフォームを着た子が増えてきました。仕事の都合、毎週活動に参加できないのが非常に残念ですが、子供たちの特長も回を重ねるごとにつかめてきました。気性の激しい子、おしゃべりに夢中でボールにはあまり触れていない子、私の伝えたいことを汲み取ってくれる子、考える前に体が反応する子、少しずつでも着実に技術を身につけている子、本当に様々なタイプの子たちが集まりました。そして、まだまだ一瞬ですが、キラッと光る原石ばかりです。

9月26日に6年生の秋の公式戦(国際チビッ子)の応援に行ってきました。息子が出場したこともあります。彼らが1年生だった頃を思い出しながら、この6年間の成長ぶりに目を細めてしまいました。私が小学生の頃には、指導者はもちろん、サッカークラブそのものがありませんでした。野球とその他の様々な遊びで毎日を過ごしていた小学校時代を終え、神奈川中学校のバレーボール部(当時はサッカー部がありませんでした!)に入った私は、中学2年の時に「読売クラブってサッカークラブが出来たんだって。行ってみようか?」と、友人に誘われましたが、「遠いから」という理由で断ってしまいました。結局、サッカーに明け暮れるのは高校生になってからのことです。

小学校1年生からサッカーを楽しむ環境がある。いろいろなチームと試合が出来る。クラブチームですから、同じ指導理念のもとで大人になってもずっとサッカーが出来る。なんと幸せなことでしょう。

でも、今の子供たちにはその「幸せ」は当分の間、分からないと思います。私の経験からは、サッカーが出来ることが「幸せ」なのではなく、サッカーを通して、たくさんの喜びを手にする事と、それ以上に、悩んだり、苦しんだりした時に、決して諦めず、自分に負けず、一つ一つ乗り越えてきたことが「幸せ」に繋がってきたと、今は思えるようになりました。

サッカーは目的ではなく、何かを手に入れるための手段だと思います。だから、好きになって本気で取り組むことが大切だと思います。

今年の幼児・1年生の「原石たち」に、まずは、サッカーの楽しさを伝え、好きになってもらいたい、と願うのはそのためです。(浜野/豊田/近江)

## Papas

### 【関東四十雀サッカー大会結果】

先月のトリコロールに掲載しました通り、昨年 Comp は、神奈川県シニアリーグ

四十雀3部Lにて優勝し、神奈川県代表として9月20日(祝)に開催されました第39回関東四十雀サッカー大会に出場しました。会場は、熊谷スポーツ文化公園多目的グラウンドでした。朝は、若干天候があやしく寒いくらいでしたが、試合が始まるころからは天候も回復し、今年の最高気温を出した熊谷らしい暑い中での試合でした。

FC前橋40(群馬県)、矢板クラブ(栃木県)、日川ジーニアス(山梨県)、FC浦和シニア(埼玉県)、千葉四十雀SCクラブ(千葉県)、四十雀クラブ東京(東京都)、ラツオス古河40(茨城県)、そしてかながわクラブ(神奈川県)の8チームで、各チーム20分ハーフを2試合を行いました。私たちは、午前に山梨県代表と、午後は群馬県代表と試合を行い、その結果を報告します。

#### ◆vs日川ジーニアス(山梨県代表)0-1

日川高校サッカー部のOBが中心のチームです。前半に、ロングシュートが決まり1失点しました。さすがにこのレベルになると、蹴る、止める、動き出しの基本動作がきちんとできていて、この失点もまさかのレンジからのシュートでした。失点したものの、かながわもボールをつなぎ数度のチャンスがあり、よいゲーム内容でしたが残念ながら得点できませんでした。

#### ◆vsFC前橋40(群馬県)0-0

群馬県のシニアリーグ1部に所属し、よくパスをつなぐレベルの高いチームでした。この試合では、かながわのボール支配率が高く、ボールも人も良く動き、数多くのチャンスがありましたが、あと一步のところまで得点にならず、引き分けとなりました。(茅野 英一)

### 【総評】

茅野さんの応援を含め、全部で15名の参加となりました。レベルの高いチームとの対戦は、今後を考えると非常に良い経験になったのではないのでしょうか。前日リーグ戦があり、やや疲れがあったと思いますが、全員が県外チームとの交流を楽しめたと思っています。どのチームも本当にフェアで、サッカーバカ

と言いますか、サッカー好きのおやじが集まったという感じです。Papasの理念である楽しむ壮年のサッカーをどのチームも実践していたように思います。今回は、マイクロバスを借りて参加しました。勝てませんでしたが、帰りの車中は、大宴会で大いに盛り上がりました。やっぱり、サッカーは最高に面白いスポーツですね。サッカーを始めて、40年以上経ちますが、改めて感じました。

(中山 泰宏)

## ヨーガ

### 【脳波測定】

「目がテン!」を見た方は番組の中で、ヨガマスターの脳波を測定していたシーンを覚えていらっしゃるかと思います。あの脳波測定に協力をした会社の方から連絡をいただきました。「伊藤先生の脳波を測定したい。」とのご意向です。ちょっと怖いですが、やってみたくてです。

迷った末に測定していただくことにしました。

テレビでヨガマスターがつけていたのと同じように、電極をおでこ左耳たぶに装着してスタンバイOK。最初に基礎となる、安静時の脳波を測定しました。測定をしていた方が、その波形を見たときに、「むむむむむ!!!」すごい!!!!!!「え!?なにになに?なんか私って変ですか?」「ファストアルファ波」と呼ばれる脳波が普通でないくらいにレベルが高いそうです。この脳波は、スポーツ選手などの最高のパフォーマンスを引き出すときに、必要となるものだそうです。

その後、ヨーガをあれこれ行ってみました。そのうちに、私のこの脳波のレベルは、機械の測定可能レベルを超えるほどに!!!!!!「うわ、どうなっているの?私の脳は???ヨーガを行うことにより、脳の使い方も鍛えられるのかもしれない。」

最近ではスポーツ選手もヨーガを行う方が増えているそうですが、これも十分にうなずけます。(伊藤 玲子)

たわごと  
理事長の戯言

【インターン】

久しぶりに東海大学から学生さんがインターンに来てくれました。体育学部スポーツレジャーマネジメント学科の小木君です。

埼玉県の川口から遠路はるばる、7日間通ってくれました。

ヒトやモノ・お金の流れや事務処理の仕方などをじっくり学んでいただいたり、マリノスやライフネットスポーツクラブにお願いをして施設見学などをさせていただきました。もちろん、かながわクラブの現場をメインに、多くのカテゴリーで指導のアシスタントもお願いしました。

実は、ここの学生さんたちには数年前から国際試合の運営もお手伝いいただいております。各方面から非常に高い評価をいただいています。スポーツ界に優秀な人材を輩出するお手伝いを、少しはできたのかな？なんて思ったりします。

実習終了後「将来はサッカー界に貢献したい」というメールを本人からいただきました。

何年か先には、かながわクラブのコーチになってくれているかな？

(内田 佳彦)